

システム設定

本機の再生するハードディスク、残量警告時間、ブザーの有無が設定できます。また、カメラ、RS-232C、リモコンの通信仕様などが設定できます。

システム設定	
再生ディスク	全て
残量警告時間	0 時間
ブザー／異常表示設定	▶
入出力端子モード設定	▶
コントロール出力端子設定	▶
セキュリティ設定	▶
カメラプリセット設定	▶
カメラモデル	TOA - B
カメラ通信速度	3 8 4 0 0 b p s
RS 2 3 2 C 通信速度	3 8 4 0 0 b p s
RS 2 3 2 C フロー制御	なし
RS 2 3 2 C 通信応答	する
リモコン通信速度	3 8 4 0 0 b p s
リモコン通信応答	する
DVR - I D	1
言語選択	日本語
音声出力起動時設定	CH 1

項目	選択	説明
再生ディスク	長時間モード <u>全て</u>	接続されているハードディスクを順番に再生できます。
	ミラーモード <u>HDD1</u> / HDD2	再生するハードディスクのグループを設定します。 HDD1 : HDD-A → C → E → A … の順序で再生できます。 HDD2 : HDD-B → D → F → B … の順序で再生できます。 ハードディスクのグループは、録画のグループと同じです。 (P. 3-21 「ハードディスクの録画の順序」)
残量警告時間	0 ～ <u>1</u> ～ 999 時間	上書禁止の場合、録画の残り時間が設定した時間を下回ったときにディスクフル LED を点滅させます。
ブザー／異常表示設定	——	設定については、P. 4-30 「ブザー／異常表示設定」を参照してください。
入出力端子モード設定	——	設定については、P. 4-30 「入出力端子モード設定」を参照してください。
コントロール出力端子設定	——	設定については、P. 4-31 「コントロール出力端子設定」を参照してください。
セキュリティ設定	——	設定については、P. 4-32 「セキュリティ設定」を参照してください。
カメラプリセット設定	——	設定については、P. 4-33 「カメラプリセット設定」を参照してください。
カメラモデル	TOA-A / <u>TOA-B</u>	RS-485 で制御するカメラプロトコルを設定します。 TOA-A : 通信方式がタイプ A で動作するカメラを接続するときに選択します。 TOA-B : 通信方式がタイプ B で動作するカメラを接続するときに選択します。
カメラ通信速度	9600 bps / 19200 bps / <u>38400 bps</u>	制御カメラの通信速度を設定します。 TOA-A : 9600 bps / 19200 bps / 38400 bps TOA-B : 9600 bps / 19200 bps / 38400 bps
RS232C 通信速度	9600 bps / 19200 bps / <u>38400 bps</u>	RS-232C の通信速度を設定します。
RS232C フロー制御	あり / <u>なし</u>	あり : RS-232C フロー制御します。 なし : RS-232C フロー制御しません。
RS232C 通信応答	<u>する</u> / しない	する : RS-232C の通信応答をします。 しない : RS-232C の通信応答をしません。
リモコン通信速度	9600 bps / 19200 bps / <u>38400 bps</u>	リモコンの通信速度を設定します。
リモコン通信応答	<u>する</u> / しない	する : リモコンの通信応答をします。*1 しない : リモコンの通信応答をしません。
DVR-ID	<u>1</u> ～ 8	デジタルレコーダーの ID を設定します。*2
言語選択	<u>日本語</u> / ENGLISH	表示言語を選択します。
音声出力起動時設定	<u>CH1</u> ～ CH4	起動時に音声出力するチャンネルを設定します。起動後は、サブメニュー画面の音声出力で変更します。(P. 4-42 「サブメニューの設定」)

第4章 設定のしかた

※ 下線部は、工場出荷時の設定です。

- *1 リモートコントローラー（C-RM1000）を接続するときは、必ず「リモコン通信応答」の設定を「する」にしてください。「しない」に設定すると、リモートコントローラーを使用できません。
- *2 リモートコントローラー（C-RM1000）を接続して、本機を複数台（最大8台）操作するときは、すべてのデジタルレコーダーを異なる DVR-ID に設定してください。また、本機前面のキー操作でも DVR-ID を設定することができます。（P.3-4「DVR-ID を設定する」）

■ ブザー／異常表示設定

「システム設定」→「ブザー／異常表示設定」

緊急録画、アラーム録画、モーション録画、および機器異常時のブザー鳴動と機器異常内容の画面表示の設定をします。

ブザー／異常表示設定		
	ブザー	異常表示
緊急録画	<u>あり</u>	--
アラーム録画	なし	--
モーション録画	あり	--
ハードディスクエラー	なし	あり
B/Dエラー	なし	なし
ビデオロス	なし	なし
ファン異常	あり	あり

項目	選択	説明
ブザー	<u>あり</u> / なし	あり：ブザーを鳴らします。 なし：ブザーを鳴らしません。
異常表示	あり / <u>なし</u>	あり：ライブモード、再生モードの画面に異常内容を表示します。 なし：ライブモード、再生モードの画面に異常内容を表示しません。 ※ 緊急録画、アラーム録画、モーション録画は異常表示されません。

※ 下線部は、工場出荷時の設定です。

■ 入出力端子モード設定

「システム設定」→「入出力端子モード設定」

本機後面の入出力端子の設定をします。

入出力端子モード設定			
入力端子	モード	出力端子	モード
アラーム1	<u>メイク</u>	コントロール1	メイク
アラーム2	メイク	コントロール2	メイク
アラーム3	メイク	コントロール3	メイク
アラーム4	メイク	コントロール4	メイク
アラーム5	メイク		
アラーム6	メイク		
アラーム7	メイク		
アラーム8	メイク		
アラーム9	メイク		
アラーム10	メイク		
アラーム11	メイク		
アラーム12	メイク		
アラーム13	メイク		
アラーム14	メイク		
アラーム15	メイク		
アラーム16	メイク		
緊急録画	メイク		

項目	選択	説明
アラーム1～16 (1～9)	<u>メイク</u> / ブレイク	メイク：COM端子とメイクすると入力されます。 ブレイク：COM端子とブレイクすると入力されます。
緊急録画	<u>メイク</u> / ブレイク	メイク：COM端子とメイクすると入力されます。 ブレイク：COM端子とブレイクすると入力されます。
コントロール1～4	<u>メイク</u> / ブレイク	メイク：動作時にCOM端子とメイクします。 ブレイク：動作時にCOM端子とブレイクします。

※ 下線部は、工場出荷時の設定です。